

診療情報を利用した臨床研究について

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、遠慮なく下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

【対象となる方】

調査対象となる期間：2012年11月1日～2018年11月30日に診断された慢性型間質性肺炎のうち外科的肺生検を目的に公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科に入院・通院された方

【研究課題名】

間質性肺疾患における Artificial Intelligence(AI) を用いた病理診断および治療効果と予後の推定

【研究の目的・背景】

《目的》

本研究では、Artificial Intelligence(AI) を用いて間質性肺疾患の病理組織像を解析し、間質性肺疾患のより精度の高い病理診断と、薬への反応性や予後が予測できる AI の構築を目標としています。この研究によって、間質性肺炎の病理診断がより迅速に、正確に、さらに現時点では困難な予後予測も可能となることが期待できます。

《研究に至る背景》

間質性肺疾患は、希少疾患で予後不良である特発性肺線維症をはじめ、数多くの疾患が含まれています。その診断は難しく、専門医をもってしても診断に苦慮しており、医師間での診断の不一致が問題となります。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

病院長承認日 ～ 2020年12月31日

【単独／共同研究の別】

公立陶生病院を含む多施設共同研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

情報は2015年7月に集積/解析が開始された先行研究、「特発性間質性肺炎に

おける臨床・画像・病理を含むデータベースの構築と臨床疫学的検討」において個々人の情報が他に知り得ない状態に処理し、研究主幹施設の浜松医科大学第2内科に集積され、他の共同研究施設の情報とともに集約化され、どの施設から提供された情報なのか誰も分からない状態で保存され、データベース化されました。今回の研究は構築されたデータベースを利用した研究です。今回は当院に提供される上記条件を満たした情報は、どの施設のどの方のものかは誰も知り得ない状態になっています。全国から集まった患者さんのデータを対象としますが、個人の特定ができませんので、今回「ご自身やご家族が診療情報を使ってほしくない」旨、ご連絡を頂いた場合、その事情の詳細などをご説明させていただきますが、そのご希望には対応できませんのでご了承ください。

加えて、当院にて外科的肺生検を受けられた間質性肺疾患の患者さんで、2012年11月1日から、2018年11月30日の間に、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 病理学 病理診断科に外科的肺生検へコンサルテーションを行った方も対象としています。こちらに該当されるご自身またはご家族等が、過去の診療データや保管している試料を研究に使用してほしくないと思われる場合や研究不参加を申し出られた場合は以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。その際はこの研究で得たあなたの試料・情報等は全て廃棄いたします。いずれの場合もなんら不利益を受けることはありません。

また、本研究に関わる記録・資料は 当院の研究責任者である片岡健介が責任をもって適切に管理いたします。

【利用する診療情報】

診断名、患者さんの背景(年齢、性別、喫煙歴など)、身体所見、検査結果(病理組織検査、血液検査、画像検査、肺機能検査、6分間歩行試験、気管支鏡検査)、病理組織標本

【研究代表者】

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 病理学 病理診断科 教授 福岡 順也

【公立陶生病院における研究責任者】

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 片岡健介

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【問い合わせ先】

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 片岡健介
電話 0561-82-5101 FAX 0561-82-9139